

サヴァン症候群

諸説ありますが、自閉症の一種と考えられ、事物に対する記憶力、空間把握能力、音楽、芸術、数字、計算などのいずれかの特定の能力が特に優れている人のことです。一方で、もちろん自閉症ですから、普通の人としての日常生活や会話、判断、情緒的交流などがほとんどできないという側面もあります。原因は、ある種の脳の機能異常であり、それを他の脳の機能で補填しようとするためにこのような能力を発揮すると考えられています。

しかし、メンタルヘルス部門に、教員の先生方から「サヴァン症候群ではないか」という依頼を受けることはかなり稀と言ってよいでしょう。それは、メンタルヘルス部門に依頼があるときには、特定の能力があるというポジティブな面についてではなく、「普通の人にある能力がない(例えば、研究室で一言も話さない)」というネガティブな面についてであることが殆どだからです。「こんな学生でも就職できるのだろうか」など、もちろん学生のことを心配してのことだとは思いますが、やはり、大学というのは、普通の人間を育てることも重要ですが、変人とも言われながらもある特定の能力がずば抜けている人を受け入れる場であって欲しいものです。



Q

Q&A

先生方からよくあるご質問にお答えします。



研究室の学生から自殺をほめかすメールが私のもとにきました。本気ではなさそうですが、こういう場合は専門家に任せたいと思います。どのように返信したらいいのかわかりません。



A



自殺を止めるのに、専門家であろうとなかろうと関係ありません。メールを受け取った先生からきちんと本人にはっきりと「やめなさい」と伝えてください(「メンタルヘルス部門に行きなさい」ではなく)。さらに、そのメールの内容をご実家の両親に伝えてください。専門家へのコンサルトはその後です。これでおさまれば、後日、ご両親が学生本人をメンタルヘルス部門に誘うことになるでしょう。

名古屋大学 学生相談総合センター

東山キャンパス 工学部7号館B棟2F
TEL 052(789)5805
メンタルヘルス部門 東山キャンパス 保健管理室
開室時間 月～金曜日 10:00～17:00(祝日除く)
E-mail soudan@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp
ホームページ <http://gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp>

